

石狩市公立小中学校事務職員協議会 冬季研修会

2011/1/11 北海道教育会館（資料作成 連携会議）

テーマⅠ 子どもの教育権保障と学校財政活動

このテーマでは、石狩市及び管内での、①学校に対する教育補助金の実態、②学校徴収金における「学級費」「進路指導費」「生徒会費」等の実態、などについて交流し、学校財政財務活動におけるこれらの位置づけと保護者負担軽減に向けたとりくみについて議論・検証します。

1. 各種補助金調査のとりくみから ～ 別紙「日刊連携会議第64号・66号」

(1) 交流の観点

- ① 補助金の名称・目的・配分額
- ② 校内における担当者
- ③ 事務足員が担当していない場合の係わり方
- ④ 配当予算との調整
- ⑤ 予算案・決算状況

(2) 改善すべき事項について

2. 学校徴収金調査から ～ 別紙「日刊連携会第75号」

(1) 交流の観点

- ① 学級費等はどのように決められているか。(金額・項目、とりまとめは?)
- ② 用途について
- ③ 決算予算について(未納金との関わりを含めて)

(2) 改善すべき事項について

3. 学校財政財務活動の視点から考える

(1) 配分予算と補助金・徴収金をどのように関連づけ(又は整理)するか。

- ① 横断的に見渡せるような資料提示か
- ② 独立しながらも、関連を意識した資料提示か

(2) 各担当者間の連携はどうなっているか

- ① 校内配分を作成する場合

各校事務職員様

連携会議事務局

各種補助金調査について

全道事務研に参加の皆さん大変ご苦労様でした。

さて、今回の調査ですが、若干経過についてお話ししますと、事務局では、ホームページの「石狩市公立小中学校の概要」に掲載するためと、配分予算と補助金等を合わせた児童生徒一人当たりの教育費を調査しようと思っていたところです。（丁度江別の協議会から電話があって、石狩市の制度についてたずねられたので分かる範囲で答えておきました。）

ところで、私の学校について言えば補助金の担当者は教頭で、会計担当は昨年まで教員でしたが、今年は制度変更に伴い、会計執行が軌道に乗るまでの間私が会計を行うことになりました。この学校に異動してきて、今でもよく分からないのがこの補助金です。他町村の読者様のために若干の解説をしますが、本校では昨年までこの補助金のことを「総合学習補助金」という通称で呼んでいました。もう少し正しくは「学校支援推進事業交付金」といって、その中に「現代的課題研究事業」「特色ある教育活動事業（総合的な学習事業・特色ある教育活動）」「地域連携事業」「外部指導者活用事業（スクールアシスタントティーチャー・部活動外部指導者）」の4事業が構成されていました。それが、今年度から「学校支援推進事業」は「学校奨励プログラム等推進事業」と「外部指導者活用事業」に大別され、「学校支援プログラム等推進事業」にはこれまでの「地域連携事業」と「現代的な課題研究事業」が統合されました。また従来の「総合学習」という概念はなくなり、「環境教育・人権教育・平和教育・国際理解教育の4つの推進事業」及び「その他の活動」に再編されました。

<昨年まで>（正確ではないかもしれませんが）

学校支援推進事業交付金	現代的課題研究事業
	特色ある教育活動事業（総合的な学習事業・特色ある教育活動）
	地域連携事業
	外部指導者活用事業（スクールアシスタントティーチャー・部活動外部指導者）

<今年から>（正確ではないかもしれませんが）

外部指導者活用事業	外部指導者活用事業（スクールアシスタントティーチャー・部活動外部指導者・学力向上サポーター等）
学校奨励プログラム等推進事業	環境教育・人権教育・平和教育・国際理解教育・その他

さて、昨年までの「総合的な学習事業」の本校での交付額は約30万円。これが、各学年や全学年の様々な教育活動で使われます。わたしが困ったのは、この交付金と学校徴収金の学年費（さ

らには修学旅行費や宿泊学習費）や生徒会費そして市教委配分の需用費のそれぞれの守備範囲が全く分からなかった（今もかなり分からない）ということです。しかも、徴収金と交付金は現金決済、配分予算は決議書決済ですから、「ひとまとめにして再配分」ということもできません。会計担当者が自分でないことも含め、このような状況下でどのように予算の計画化を図ったらいいのか今も思案中です。さらに、今年からの制度改正で分野の細分化（環境教育・人権教育・平和教育・国際理解教育・その他）が図られ、お金の使い方が一段と複雑になりました。行政機関にしてみれば、事業名称を今日的課題に焦点をあてたものにし、それに予算を着ければそれだけでも「成果」として報告できるのかもしれませんが、現場はさらに実践を行わなければなりません。事業計画に沿い、且つ無駄や重複がなく、そして適切な執行のできる予算案を作成することは大変に難しいことであり、試行錯誤が必要です。職員の中には、いつでも使える便利な「総合」のような認識が定着しており、今は「総合学習補助金はもうなくなったのでその言葉は使わないように」というところから始めています。各学校の実態を交流して、学校財政財務活動の観点で議論を進めましょう。

ということで各種補助金の調査（その1）を行うのでよろしくお願いします。調査結果は原則公開したいと思います。

補助金に関する調査

下の表を埋めて、事務局まで提出お願いします。

【学校名 】

事業名	交付金額	担当者職名	会計担当者職名
外部指導者活用事業			
学校奨励プログラム等推進事業			

上記以外の補助金があれば、下記に記載してください。

（市教委以外の公的事業団体による補助金も記載お願いします）

事業名	交付金額	担当者職名	会計担当者職名

連携会議

日刊 2010/10/8 第66号

各校事務職員様

連携会議事務局

各種補助金調査について その2

日刊連携会議64号でお願いした各種補助金調査がまとまったので、速報値をお知らせします。
まず、調査結果速報値については、HP 白書・提言のページにアップしておきますので、ご覧になってください。ここでは今回分かった補助金の状況について簡単に表にしてみました。

補助金の名称	交付学校数	担当者の職名	会計担当者の職名
外部指導者活用事業	全13小学校 6中学校	教頭19	教頭10 教諭3 事務職員6
学校奨励プログラム等推進事業	全13小学校 全8中学校	教頭21 教諭1(重複)	教頭10 教諭3 事務職員9(重複1)
ボランティア活動普及協力事業	3小学校 2中学校	教頭1 教諭2 事務職員1	教頭1 教諭1 事務職員3
浜益区青少年育成協議会交付金	1中学校	教頭1	教頭1
みずほ財団パートナーズスクール事業	5小学校	教頭2 教諭3	教頭2 事務職員3
学校環境緑化事業	1中学校	事務職員1	事務職員1

見てのとおり、補助金に関しては必ずしも事務職員に仕事が割り当てられているわけではないことがわかります。第64号で少し記述しましたが、樽川中学校では今年奨励プログラムの会計を事務職員が行います。これは、事務職員が複数になったからではありません。64号で書いたとおり、市費と補助金の守備範囲が整理されておらず、補助金執行を体感しなければトータルな学校財政がわからないと考えるからです。例えば本校の場合、体育祭や学校祭の運営予算は、予算案としては市費・生徒会費・PTA会計(これは将来無くしたいが)で構成されていますが、実際には学年費(徴収金)・補助金からも支出されています。市費だけを見ても行事予算を見たことにはならないのです。一方で、補助金の会計担当者が事務職員でない場合に、事務職員の知らないところで支出があるのではないかと不安があります。一般論として実際の活動場面において「費用の出所はともかく予算を確保してほしい」と言うのが本音だと思いますが、そこを井勘定ではなく計画化・可視化するのが事務職員の役割だと思うのですが、どうでしょう。

このような観点で作られた行事予算書をお持ちの方いらっしゃいましたら、当会議までご連絡ください。なお、この課題については引き続き調査研究します。

参考までに、樽川中学校祭予算案を紹介します。前述のとおり、これ以外に使われているお金があり、それをカバーするのが今後の課題です。

樽翔祭細案

予算担当：常陸・加藤謙

2010年度 樽翔祭予算（案）

1. 樽翔祭予算について

出 処	前年度予算	前年度決算	今年度予算	備考(昨年の支出状況)
生徒会費	100,000	94,031	100,000	ｽﾃｰｼﾞﾊﾞｯｸ 賞状用紙等
P T A 行事助成費	50,000	11,543	50,000	1年装飾： 1,428 2年装飾： 5,880 3年装飾： 3,255 放送局： 980
市経理(行事費)	35,000	48,949	35,000	ｽﾃｯｸ : 11,702 壁新聞 : 18,780 照 明 : 8,820 合唱 放送 他: 9,647
合 計	185,000	154,523	185,000	

2. 配分方法について

項 目	金 額	内 容
生徒会書記局費	28,500	
学級配分(生徒会費)	71,500	5,500円×13学級 (かがやき学級分は市経理より支出)
P T A 行事助成費 + 市経理(行事費)	85,000	壁新聞・ｽﾃｯｸ・装飾・教科展示の各部門にかかわる予算です。 細案決定後 必要物品の調査を行います。
合 計	185,000	

3. 予算執行に当たっての留意事項

- (1) 生徒会・学級配分は、物品購入後 領収書を生徒会会計に提出してください。
- (2) 壁新聞・ｽﾃｯｸ・装飾・教科展示の各部門の物品購入に際しては、PTAと市経理が混在するため、一概に領収書で可とはなりません。購入前に予算担当に一声かけてから注文するようお願いします。
- (3) PTA 会計は、必要最低限の支出におさえる方針とします。

連携会議

日刊 2010/12/22 第75号

各校事務職員様

連携会議事務局

冬季研修会に向けて

本日22日が忘年会の職場も多いのではないのでしょうか。本校では、市電を借り切って一次会をすることになりました。18:45分、四丁目プラザ前の「西4丁目」電停を出発です。まだ席に余裕があるのでどうぞいらっしゃってください。

さて、1月11日の冬季研修会は午前中「保護者負担軽減に向けて」というテーマを予定しています。第17回連携会議で「学級費」「進路指導費」「用紙代」「生徒会費」など学校徴収金に計上されている学校をリストアップしましたが、その内容について交流・検証を行います。

「学級費」							
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	支援
花川南小	450	450	450	450	450	450	
緑苑台小	320	320	320	320	320	320	
浜益小	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
花川中	400	400	400				
花川南中	210	210	210				210
花川北中	300	300	300				
樽川中	400	400	400				
「進路指導費」(3年)			「用紙代」		「生徒会費」		
石狩中	2,000		緑苑台小	200	石狩中	2,000	
花川中	1,900		花川北中	100	花川中	2,000	
花川南中	1,600		樽川中	200	花川南中	2,100	
花川北中	2,000				花川北中	2,000	
樽川中	1,500				樽川中	2,800	
厚田中	なし				厚田中	1,000	
聚富中	2,500				聚富中	なし	
浜益中	3,800				浜益中	2,000	

そこで、参加者の皆さんにお願いですが、これらの費用がだいたいどのように使われているか調べてもらいたいのですが、会議でもお示ししたとおり、この分析はかなり面倒なものになることが予想されるので、「だいたい」もしくは「アバウト」に調べてきてほしいと思います。その交流結果から、今後の調査を考えていきたいと思います。

会議の時にもお話ししましたが、事務局校の状況をおはなしすると、「進路指導費」は管内進路協で取りまとめている「進路の手引き・負担金」以外はほぼ願書の写真代です。以前はここから願書提出の旅費などが支出されていましたが、今は全て配分旅費で頑張っています。しかし、内申書作成などに使う事務用品が「学級費」や「総合学習補助金」から支出されていたことがわかりました。この辺はやや適切さを欠いており、改善が必要ではないかと思います。また、生徒会費からは総予算の半分程度が部活動に支出されています。これもどうなのでしょう。教育課程としての生徒会予算と任意参加の部活動予算がまぜこぜであるというのは（もっとも、個人的には生徒会費が私費負担なものも不思議）。他にも不思議がいっぱいです。11日はそんな情報をよろしくお願いします。